



2023年 小林陽太郎奨学金 募集要項

一般社団法人日本アスペン研究所

グローバルに活躍する人材育成の一助として、
世界各地のアスペン研究所が提供するプログラムへの派遣を支援します。
主に現代社会が直面する課題について対話し、思索を深め、
価値に基づくリーダーシップを醸成します。



【設立の趣旨】

グローバル化が進展する今日、世界を舞台に活躍できる人材が求められており、異なる文化や宗教、社会背景を理解したうえで、多様な価値観に適應できる人間力が益々重要になってきております。

日本アスペン研究所は、1977年に米国アスペン研究所の活動に触れ、強い問題意識を抱いた故・小林陽太郎氏により1998年に創立されました。小林氏は、日本人の思考・行動が、極端な技術偏重、哲学の希薄なテクノクラシーから、明確な価値観と目的意識に裏付けられた、より大きく豊かなものへと脱皮する必要性を痛感し、創立に多大な熱意を注ぎました。以来、理事長として16年にわたり当研究所の活動を牽引してきました。

小林陽太郎奨学金は、長年の盟友であるレナード・ローダー氏（米国アスペン研究所国際委員会名誉会長、米国エスティ・ローダー社名誉会長）と小林夫人の篤志により、故小林陽太郎氏の長年の功績を称えるとともに、当研究所創立に込められた小林氏の思いを今後の世代へ継承すべく、設立されたものです。ローダー氏は近年の日本が内向きになっていることを懸念しておられました。今後、グローバルに活躍する人材育成の一助になることを心から願っております。

【目的】

日本の各界のヤング・リーダーを対象に、米国、日本をはじめ、世界各地のアスペン研究所が主催するプログラムへ参加する機会を提供し、グローバルに活躍する人材育成の一助とします。

【概要】

小林陽太郎奨学金は、日本の産業界、官界、政界、学界、NGO等のヤング・リーダーを対象に、本部米国その他、世界に広がるアスペン研究所の国際パートナー[※]が主催する各種プログラムへの参加を支援します。

※ アメリカ、日本、ドイツ、フランス、イタリア、インド、ルーマニア、スペイン、チェコ、メキシコ、キーウ、ニュージーランド、英国（2023年1月現在）。

I. 対象プログラム

■プログラム1 日本国外で開催されるプログラム

米国アスペン研究所および、日本以外の国際パートナーが各地で主催する「ソクラテス・プログラム」を主とするプログラムへの参加費用^{※1}を提供。

■プログラム2 日本国内で開催されるプログラム

日本で開催する米国アスペン研究所の「小林メモリアル・ソクラテス・プログラム」^{※2}の参加費用^{※1}を提供。

※1 奨学金適用範囲の詳細は末尾の「奨学金提供にかかる留意事項」をご参照ください。

※2 米国アスペン研究所から派遣されるモデレーターによる、英語のテキストを用いた英語で行う対話セミナーです。ソクラテス・プログラムについてはp.4をご参照ください。

II. 対象となる応募者

産業界、官界、政界、学界、NGO 等で活躍中もしくは今後活躍が期待される日本人のヤング・リーダー（30 歳～50 歳）

III. 募集人数

■プログラム 1 日本国外で開催されるプログラム

若干名

※日本国籍を有する方が対象です。

※各国アспен研究所で開催予定が決まり次第のご案内となります。

■プログラム 2 日本国内で開催されるプログラム

15 名前後

※プログラムには日本国籍を有する方 15 名前後に加え、他の国籍を有する方が 5 名前後参加します。

※原則として、日本国籍を有する方が本奨学金の提供対象となります。

IV. 応募要件

1. プログラムの全日程の参加が必須です。一部日程の参加は、奨学金の提供対象外となります。
2. 事前に、参加承諾書の提出が必要です。
3. 参加後、レポートの提出が必要です。レポートは当研究所の理事会・総会にて役員・正会員代表へ提出します。※A4 用紙 1～2 枚。形式は自由。提出期限は参加後 3 週間以内。
4. 参加後、当研究所の会議・セミナー等において、口頭でのご報告をお願いする場合があります。
5. 当研究所の理事・監事・会員企業および団体に所属する方からのご応募は、人事部などの窓口を通して受け付けております。ご応募の前に、ご所属先の担当部署へご相談くださいようお願い申し上げます。担当部署が不明の場合、当研究所事務局（秋山）までお問い合わせください。

◆日本アспен研究所 理事・監事・諮問委員

<https://www.aspeninstitute.jp/about/board/>

◆日本アспен研究所 正会員・賛助会員

<https://www.aspeninstitute.jp/about/member/>

V. 応募手続き

応募要項末尾の「奨学金提供にかかる留意事項」を必ずご一読のうえ、申込書に必要事項を記入し、事務局（office@aspeninstitute.jp）へ E メールにてご提出ください。

※参加可否について事務局にて審査の上、締め切り後 1 週間を目途にご連絡いたします。

※締め切りは各プログラムの開催 3 か月前を目途とします。

【ソクラテス・プログラムとは】

<https://www.aspeninstitute.org/programs/socrates-program/>

ソクラテス・プログラムは、米国アスペン研究所が米国の主要都市やメキシコ、ウクライナ、スペイン、コロンビア、日本などで展開している英語の対話セミナーです。すでに 20 年以上の歴史があり、卒業生は国内外で 7000 人以上にのぼります。

セミナーでは、民間企業から政府関係者、非営利団体、起業家、学者まで幅広い分野の新進リーダーが国境を越えて集い、現代社会が直面する課題について対話・思索を深めます。セミナーごとに時勢を反映したテーマが取り上げられ、各テーマに精通した経験豊かなモデレーターがテキストを編纂し、実際の対話の進行役も担います。

事前に配布されるテキストには、テーマに関連した最新の論文や記事のみならず、共通する問いをはらむ古典作品からの抜粋が含まれます。参加者はテキストを通読したうえで、対話に臨みます。「ソクラテス」と冠する通り、対話は一つの正解を求めるものではなく、多彩な視点を尊重し合い、価値に基づくリーダーシップを醸成することを目指すものです。

プログラム期間中は、対話セッションの他に文化活動やディナーなど懇親の機会が豊富に組まれています。そこで生まれる参加者同士のネットワークや一体感は、将来にわたってかけがえのない財産となります。じっさい、プログラム参加をきっかけに協業を始める例は珍しくありません。

本奨学金による参加者からは、「対話を通して答えを導き出す今回の経験は、一過性のアウトプットだけでなく、めまぐるしく変化を続ける世界でより大きな視野で貢献を行うための糧となると確信した」、「新たな仲間と出会い、新たな知を得るとともに、さらなる自己研鑽の必要性を強く感じた」、「様々な立場の参加者と意見交換・議論をすることができる貴重な機会。多角的な視座こそがビジネスを見通す力の一つとして重要だと改めて認識した」、「結論を追い求めないスタイルは考え方の柔軟化や知の追求において非常に有益と実感した」といった感想を得ています。

奨学金提供にかかる留意事項

■対象プログラム1. 日本国外で開催されるプログラム参加の場合

<奨学金の適用範囲>

1. プログラム開催地までの直行直帰の往復航空運賃^{*1}
区間：本人居住地の最寄り空港 ⇄ プログラム会場の最寄り空港
クラス：エコノミー
2. プログラム受講料
3. プログラム期間中の食費
4. プログラム前日および期間中の宿泊費^{*2*3}

^{*1} 他都市への立ち寄りなど、上記区間と異なる経路を利用する場合は、参加者本人にて航空券の手配をお願いいたします。その際、航空運賃は奨学金の適用外となり、奨学金としてプログラム参加費、食費、宿泊費が提供されません。

^{*2} 前泊はプログラムを主催する各国アспен研究所が指定する施設に限ります。前泊の際の食事代は参加者負担となります。

^{*3} プログラム終了日に移動の手段がない場合、プログラムを主催する各国アспен研究所が指定する施設での宿泊費を適用範囲とします（例：日本への帰国便が翌朝出発の場合）。後泊の際の食事代は参加者負担となります。

<奨学金の適用範囲外（参加者負担）>

1. 海外旅行保険費用^{*4}
2. パスポート、VISA（ESTA 含む）取得費用
3. 居住地と最寄り空港間の交通費（例：自宅～成田空港間の交通費）
4. プログラム開催地域での私用の交通費^{*5}
5. プログラム期間中、オプションの活動に参加する費用（例：ハイキング、スキーなどのアクティビティ）

^{*4} 移動中、滞在中の事故等について、日本アспен研究所は責任を負いかねますので、海外旅行保険に各自加入されることを推奨いたします。

^{*5} 多くの場合、宿泊施設とプログラム会場間のシャトルサービスがあります。

<その他>

1. プログラムの全日程の参加が必須です。一部日程の参加は、奨学金の提供対象外となります。
2. プログラム参加にかかる航空券・宿泊は、上記適用範囲内において、通常、米国のアспен研究所事務局にて手配いたします。

■対象プログラム2. 日本国内で開催されるプログラム参加の場合

<奨学金の適用範囲>

1. プログラム受講料
2. プログラム期間中の食費
3. プログラム期間中の宿泊費

<奨学金の適用範囲外（参加者負担）>

1. プログラム開催地までの交通費
2. プログラム期間前後の宿泊費
3. プログラム開催地域での私用の交通費

<その他>

1. プログラムの全日程の参加が必須です。一部日程の参加は、奨学金の提供対象外となります。

■キャンセルポリシー

参加決定後にやむを得ずキャンセルされる場合は、日本アспен研究所へ電話でご連絡いただくとともに、プログラムを主催する各国研究所へ書面を提出していただきます。各国ごとに定められたキャンセルポリシーに基づき、キャンセル料をお支払いいただきます。

<日本国内で開催されるソクラテス・プログラムの場合>

- ▶ セミナー開催 45 日前～当日
実費相当等のキャンセル料をお支払いいただきます。

<米国で開催されるソクラテス・プログラムの場合>

- ▶ セミナー開催 45 日前まで
一律 \$75
- ▶ セミナー開催 45 日前～30 日前
受講料の 25%
- ▶ セミナー開催 29 日前～15 日前
受講料の 55%
- ▶ セミナー開催 14 日前～当日
受講料全額

※上記に加え、宿泊や航空券のキャンセル料が発生する場合があります。

【問合せ・申込み先】

一般社団法人日本アспен研究所

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ルック六本木ビル 2 階
03-6438-9208 / office@aspeninstitute.jp (担当：秋山)